# 第53回 東京都公民館研究大会

平成29年1月21日（土）午前10時～午後4時

今回の大会は、福生市公民館が大会事務局として中心になって企画運営してきました。その中で大事にしてきたことは、明日への勇気と元気を共有し合える大会にしたいということでした。そのため、これまで公民館が市民と共に成し遂げてきた、ひとづくり・まちづくりの成果をあらためて明らかにし、その上で、今後の持続可能な地域づくりの時代に求められる公民館の果たすべき役割や、未来の姿を明らかにしたいと考え、テーマを「公民館のこれまでとこれから～成果と方向性～」としました。

午前中の全体会では東京農工大学の朝岡幸彦教授からテーマに沿ったお話をいただき、戦後から現在までの公民館の果たしてきた役割と成果、そして学社一体の取組から、これからの公民館に求められる姿をお示しいただきました。

午後からは、四つの課題に分かれ、熱心な話し合いが持たれました。

各課題別集会の概要をご報告します。

## 第一課題別集会（担当：小金井市）
## 高齢者の学びと講座づくり

第一課題別集会では、最初に高齢者の学びと講座づくりについて、立川市から寿教室、調布市からシニア講座、小金井市から高齢者の学びについてそれぞれ事例発表がありました。いずれも共通していることは、講座終了後にサークルができ活動している事と、平均年齢が75歳という事です。これは私のサークルも同様です。また男性の参加が少ないこと、これも福生市の公民館でも当てはまります。現役時に培ったものを、サークル活動に参加する等発揮してもらいたいものです。ほんの少しの勇気で、外へ出て活動しませんか。健康寿命を延ばし、家計に優しく医療費の節約につながります。

公民館は、いつでもあなたの参加をお待ちしています。

（第一課題別集会参加者 市民代表　山口様より）

## 第二課題別集会（担当：小平市）
## 公民館から始める地域づくり

公民館は戦後まもなく日本の各地に設置され、地域の人々が集い、学び、産業や文化の振興をすすめるための拠点として、大きく貢献してきました。そして今、コミュニティの再生や地域文化の創造など、地域づくりの新しい取組が求められる中で、公民館がどのような役割を果たせるのかが問われています。以上のような背景をふまえ、この分科会では、地域づくりに果たす公民館の役割に関する基調講演を聴き、先進的な事例の報告を行い「公民館から始める地域づくり」の可能性を検討しました。

事例としては、地域課題の解決、図書館と一体化した地域連携、事業に対する住民参画に関する公民館活動を取り上げ、基調講演とこれらの事例報告をふまえて公民館の今後の展望を考えました。

## 第三課題別集会（担当：日野市）
## 公民館からの発信力を考える

本課題別集会においては、ワークショップとして、情報発信の基本軸としての「広報誌」を扱いました。昨今では、デジタル環境が進化して広報手段は多岐にわたりますが、個人情報の観点から障壁のあるデジタル手法ではなく、ローカル主体で、写真等の扱いの自由度が高い広報誌をベースとしたメディアミックスについて考えました。

全国公民館連合会が開催している「館報コンクール」をモデルタイプに、参加者で模擬広報誌審査会を行いました。最後に、各グループが選んだ優秀作と実際のコンクールの優秀作に対する審査の視点の違いもふまえ、公民館がさらに住民に効果的な発展をしていくためによりよい効果を発揮するには、どのような広報手段を使えばいいのかを解説・討論しました。

## 第四課題別集会（担当：都公連委員部会）
## 少子高齢化時代の公民館のあり方について考える

人口における65歳以上の高齢者の割合を「高齢化率」といい、高齢化率が7％以上の社会のことを「高齢化社会」、14％以上になると「高齢社会」と呼ばれます。日本は、世界の中でも急速に高齢化が進んでいる国の一つです。

本課題別集会では、それらの高齢化について以下の5つのテーマについて、各グループで話し合いました。

①少子高齢化社会の原因をどう捉えるか、各地の実態から考える
②キーワード1　ゆとり・生きがい・相互の関わり合い・社会参加
③キーワード2　個性・多様性・多文化性・環境との共生
④キーワード3　対話力・問題解決能力・自治能力
⑤持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割

### 参加者アンケートから

＊東京都公民館研究大会としてふさわしい内容と会場であった。福生市の底力を見たような気がした。これからもますます発展していくことを希望する。

＊大会に参加して、他市の人と相互交流を深められ、今後のよりよい事業の展開に役立った。

＊学校教育と協力し合って地域づくりを進める、学社一体に新たな視点の気づきを得られた。







公民館サークル登録数（H29年3月15日現在）　本館…107団体　松林分館…58団体　白梅分館…41団体